



月号

# 月刊ほたるメイト

2024.7.31発行：辰野町商工会

## 経営企画室

## シリーズ商工会探究①

### (1) はじめに

商工会とは一体何なのか？

唐突な問いからスタートしましたが、商工会は特殊な法人で、多くの方にとってはなんだかよくわからないものであるというのが実態だと思います。しかし、今後急激な人口減少に見舞われる辰野町において、地域経済に必要不可欠なプレイヤーの集まりであるという組織構造や、そのプレイヤーが持続的に活動できるよう経営支援を行う役割を有するという点で、商工会はその実非常に重要な意義を持つ存在であると言えます。

そこで、本連載では商工会の組織・運営・事業活動、そして今後どのようにあるべきかなどについて、時には法令もひも解きながらみなさまにお伝えしていきます。それらが会員およびステークホルダーのみなさまに商工会というものをより深くご理解いただくきっかけとなり、ひいては町と商工会の未来に向けた諸活動の一助になれば幸いです。

### (2) 設立～現在

まずは、すべての始まりである組織設立からです。辰野町商工会は、昭和35年（1960年）9月に「商工会法」に基づいて設立されました。同法で町村部における商工業の総合的な改善発達を図るための組織として位置づけられ、60年以上もの間その趣旨に沿って活動してきたわけですが、「商工業の総合的な改善発達」の意味が時代に合わせて変わっていき、関連法の成立と共に今日ではより明確にその社会的な使命が規定されるに至っています。この使命が現在の辰野町商工会の動きにも大きく影響するところですので、次回以降より詳しく見ていきます。

#### －別件お知らせ－

信州豊南短期大学より、次年度以降の留学生受け入れに向けたパート・アルバイトのニーズ調査の依頼がありました。留学生をパート・アルバイトとして雇用することに関心のある方は、短大側に直接お問い合わせください。

信州豊南短期大学 ご担当：事務局次長 一ノ瀬敏樹 様

電話：0266-41-4411 メールアドレス：t-ichinose@honan.ac.jp

## 経営支援課

### 経営が苦しくなる前に。資金繰り管理のキホン

経営で一番の悩みは？と聞かれて「資金繰り」と答える方も多いのではないのでしょうか？経営において現金はよく血液に喩えられますが、資金繰りは血液を運ぶ循環機能と言えます。血の巡り、つまり現金の流れが滞って経営状況が悪くならないようにするにはどうすれば良いのでしょうか？

#### 現金の流れを定期的に把握し、資金繰り表を作成する

売上の把握も重要ですが、この場合は現金の入出金と残高を、毎月、場合によっては毎週、定期的に確認することです。資金繰り表を作成し現金の流れに変化が無いかわかりましょう。ただし、これには少なくともひと月前の売掛金や請求書の集計ができていなければならない必要があります。

#### 資金繰り表に入出金予定を記載し、先の予測を立てる

当月の資金繰り管理に慣れてきたら、先々の計画にも目を向けてみましょう。見積書や注文書があれば二ヶ月先の予測は立てられるはずです。さらに販売計画や投資計画があれば、資金繰り表に反映することで、前もって精度の高い資金調達の準備をすることができます。また予測と実績を比較して、差異を分析することで早めの問題発見につながる効果もあるでしょう。

#### 顧客サービスや従業員満足に集中するための資金繰り管理

資金繰り管理が行き届いていれば、心配ごとは減り経営も心も楽になります。経営支援課では、資金繰り管理についての相談も承っております。気軽にお問い合わせください。（経営支援課 井上 将）

## 総務会員課

商工会館夏季休館のお知らせ

**8月10日（土）～18日（日）**

ご了承のほどよろしくお願い致します

### 会社の枠を超え、辰野町の同期で協力し合います

令和6年度新入社員研修プログラム第2回を7/24（水）に開催しました。「働くことを考える～メンバー同士悩みを共有しよう～」をテーマに、かやぶきの館を会場にそば打ち交流会を間に盛り込んだ研修に25名が参加しました。3カ月ぶりに会う「地元の同期」と仕事の悩みを共有したほか、そば打ちでは皆で協力をしあう姿がみられました。自社の目的・目標を語る場面では新入社員が社内で確認しまとめてきた内容を立派に話し、わずか3カ月という短期間でも大きく成長した若手社員たちの姿から、町内企業の人材育成にかける意欲を感じることができました。次回は11月です。

